

耐災害ICTを活用した災害に強いネットワーク技術の実証

【目標】平時に使い慣れたスマートフォンを緊急通信端末として利用することができ、耐災害性が強く、かつ低コストで運用可能な災害通信システムの実現

【あらまし】大規模地震などが発生すると、携帯電話基地局の倒壊や基幹回線の切断などにより多くのエリアで通信手段が消失し孤立してしまう。これにより、災害救助活動、災害被害状況の把握や災害情報の連絡などに支障をきたしてしまう。2015年3月5日、高知県および高知市の協力を得て、耐災害ICTを活用した災害に強いネットワーク技術の実証実験を高知市で実施した。これにより、通信手段が喪失された地域と通信手段生き残り地域を臨時の中継器により接続して通信を確保(アドホック・メッシュネットワーク)する技術と、災害緊急対応活動や住民への災害情報伝達にグループ通信/一斉同報通信が有効であること、また、平時に使い慣れたスマートフォンを緊急対応通信端末と利用することにより低コストで運用可能な災害通信システムを実現できることを実証した。

耐災害ICTを活用した災害に強いネットワーク技術の高知市での実証実験概念図

